

老農・中井太一郎と 農民たちの近代

大島 佐知子 著
2013年10月刊行予定

▶ A5判・380頁／定価 7,875円 (税5%込)

ISBN978-4-7842-1710-6

農業近代化の過程で重要な役割を果たした「老農」たち。その一人、除草器「太一車」で知られる中井太一郎の技術・思想や全国巡回をしたライフヒストリー、彼と歩んだ組織・団体に集う明治の農民群像を実地調査によって明かす。

内容目次

第一章 前半生と地租改正反対運動

太一郎の前半生／久米・八橋郡地租改正反対運動と太一郎／地租改正反対運動から農事改良へ

第二章 明治前期鳥取県における農事改良

太一郎の農業技術と風土／島根県立植物試験場の創立／倉吉農学校の創立／林遠里の招聘と太一郎／林遠里法に対する太一郎の見解

第三章 明太一郎の農業技術体系

太一郎の農業技術の基底にあるもの／太一郎法の形成／全国への発信／太一郎の自然観・農業観

第四章 太一郎の技術普及(一)

田打車から太一車へ／太一車と正条植普及の形態／全国巡回と太一車・正条植の普及

第五章 太一郎の技術普及(二)

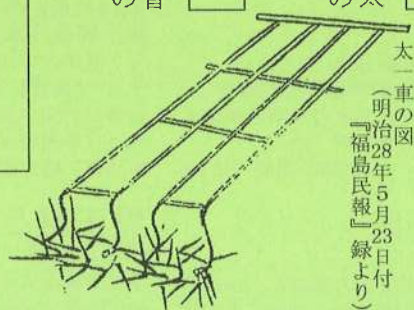
巡回後半期への出発／明治三二年の巡回／明治三二年の巡回／「農商務省論達」と地域の対応

第六章 帝国農家一致結合と太一郎

「種苗交換同盟」から「帝国農家一致結合」へ／転機となった明治二八年／急速な拡大と活動の変化／「帝国農家一致結合」を支えた人びと

終章 晩年の太一郎


日清・日露戦争に対する太一郎の視線／鳥取県農会名誉会員および県立倉吉簡易農学校教師としての活動／中井家の農業経営／太一郎の最晩年



おおしま・さちこ…1936年鳥取県生。関西農業史研究会所属。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	老農・中井太一郎と農民たちの近代		本体7,500円(税別)	ISBN978-4-7842-1710-6
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料400円を現金と引き替えにお支払い)		本書HPのQRコード		書店番線印

畿内の豪農経営と地域社会

渡辺尚志編

18世紀末以降、河内国丹南郡岡村（現藤井寺市）の庄屋を世襲し、豪農・地方名望家である岡田家。近世・近代において同家が作成・授受した「岡田家文書」1万数千点を多角的に分析し、畿内における村落と豪農の特質を経済・社会構造の観点から解明する。

▶A5判・508頁／定価8,190円 ISBN978-4-7842-1385-6

申近世農業史の再解釈『清良記』の研究

伏見元嘉著

戦国末期伊予の軍記『清良記』全30巻を分析。その著者および成立年代を確定し、日本最古の農書とされる第7巻「親民鑑月集」の位置づけを明かす。近世農業の始まりとしての農書という定説をくつがえし、中世農業の最終段階をはじめて詳説したと位置づけ直す。

▶A5判・424頁／定価8,190円 ISBN978-4-7842-1562-1

※近世後期瀬戸内塩業史の研究

山下恭著

塩、醤油業における開発・経営・塩専売制・流通問題を分析し、さらに塩業における燃料問題と労働条件を数量的に解明した基礎的研究。

【内容】近世後期赤穂前川浜の開発／近世後期龍野醤油醸造業者の塩田経営／近世後期赤穂塩業の燃料革命 ほか

▶A5判・300頁／定価6,300円 ISBN4-7842-1287-6

伝統産業の成立と発展 播州三木金物の事例

桑田優著

兵庫県三木市の伝統産業、三木金物の流通機構の発達など社会的な背景にも着目し、三木金物が特産品として全国市場へ進出してゆく過程を跡付ける通史。【内容】近世三木町における前挽鋸鍛冶仲間の成立と発達／第二次世界大戦後における伝統産業の発展と同業組合 ほか

▶A5判・300頁／定価6,825円 ISBN978-4-7842-1523-2

日本産業技術史事典

日本産業技術史学会編

日本近代化の歩みを支えた産業技術の変遷を俯瞰する「読む事典」。

【項目】道具／機械／素材／人工の素材／産銅業／石炭産業／動力と動力システム／鉄道と船／航空機と自動車／情報・通信／生産技術／農業・林業・漁業／食品加工業／繊維と衣服／耐久消費財 ほか

▶B5判・550頁／定価12,600円 ISBN978-4-7842-1345-0

経済史再考

徳永光俊・本多三郎編

大阪経済大学日本経済史研究所開所70周年記念論文集。

【内容】黒正史学再考／天野元之助と中国古農書研究／堺と長崎／近世地方金融資本「石州銀」と九州／近江商人正野玄三家の事業と奉公人／伊庭貞剛の意識と行動／総力戦体制と農業増産政策 他

▶A5判・620頁／定価12,600円 ISBN4-7842-1153-5

社会経済史学の誕生と黒正巖

山田達夫・徳永光俊編

大阪経済大学日本経済史研究所の創設者黒正巖博士の業績を、1930年代前後におこる世界的な社会経済史学の興隆状況のなかで捉え直す第1部と、博士の人となり伝える第2部で構成。社会経済史学の原点を回顧することにより、新しい世紀への展望を考察。

▶A5判・200頁／定価2,625円 ISBN4-7842-1076-8

西南地域の史的展開【近世篇】

西南地域史研究会編

秀村選三博士の九大退官を記して内外20名が論じる。I 西南地域の支配構造、II 貿易と流通、III 産業と社会、で構成される諸論稿は、おのずと西南の地域性と国際性を浮き彫りにしている。

▶A5判・650頁／定価16,800円 ISBN4-7842-0495-4

一九世紀の豪農・名望家と地域社会

福澤徹三著

生産力の先進地域であった畿内と生産力的には劣る信濃の2地域を対象に、19世紀の豪農・名望家と地域社会の関係を総合的に論じる。大規模豪農と中小豪農の経営レベルの比較、金融活動の分析を中心に、その生業・営為を近世・近代を通じて明らかにする。

▶A5判・330頁／定価6,300円 ISBN978-4-7842-1642-0

※近世社会と百姓成立 構造論的研究

渡邊忠司著

佛敎大学研究叢書1

近世社会において零細な高持百姓が経営の自立と再生産を可能としていた「条件」は何であったのか。領主権力による「成立」の構造を再検証し、百姓の観点から百姓自らが創出した「成立」の条件と構造を年貢負担と村内の組織編成、質入の検討により解明する。

▶A5判・310頁／定価6,825円 ISBN978-4-7842-1340-5

日本近世染織業発達史の研究

貫秀高著

近世において、大規模産業として成長し、文化・生活の向上に大きな役割を果たした染織業。本書はその発達の推移を、生糸の輸入状況や技術の発達などの関連において、詳しく分析した労作。

▶A5判・780頁／定価12,600円 ISBN4-7842-0852-6

一六世紀イングランド農村の資本主義発展構造

松村幸一著

膨大な数にのぼる16世紀イングランド農村史研究の主要な論文をまとめた一書。戦後の大塚史学と各国資本主義の類型を巡る激しい論争で生まれた諸論考を2部構成で収録。

▶A5判・660頁／定価14,700円 ISBN978-4-7842-1575-1

近代地方政治と水利土木

服部敬著

淀川・安威川・神崎川の水利構造の変遷と分析、沿岸住民の治水運動と中央・地方議会と政党の対応、近代化の意味と中央集権的近代国家の性格を地域史の視座から問う。【内容】近代国家の成立と水利慣行／日露戦争後の農事改良政策と水利問題 他

▶A5判・400頁／定価6,930円 ISBN4-7842-0873-9

黒正巖著作集【全7巻】

黒正巖著作編集委員会編

全7巻構成で1920～1940年代に展開された黒正史学の全貌を明らかにする。【内容】第1巻：百姓一揆の研究／第2巻：百姓一揆論／第3巻：岡山藩の研究／第4巻：社会経済史の研究／第5巻：経済地理学の研究／第6巻：日本経済史／第7巻：農史の研究、年譜・著作目録

▶A5判・総2,800頁／定価58,800円 ISBN4-7842-1122-5

黒正巖と日本経済学

徳永光俊編

『社会経済史学の誕生と黒正巖』に続き、黒正巖の業績を再検討。1940年前後、京都大学を中心とした「日本経済学」の動きの中で、黒正らの役割を解明。師である本庄栄治郎と彼が打ち立てた「日本経済学」の主張を検討、黒正と戸田梅市、京都経済学者たちとの関係も考察。

▶A5判・250頁／定価2,835円 ISBN4-7842-1242-6

西南地域の史的展開【近代篇】

西南地域史研究会編

秀村選三博士の九大退官を記して内外20名が論じる。I 近代化過程における産業、II 石炭鉱業における経営と労働の問題、III 近代における政治と貿易、に構成される諸論稿はいずれも実証に裏付けられ、西南地域の社会経済を具体的に考察する。

▶A5判・754頁／定価19,950円 ISBN4-7842-0496-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。